

八代 <sup>とよたけ</sup>豊竹 <sup>しま たゆう</sup>嶋大夫 芸歴 人形浄瑠璃文楽座・太夫

[芸歴]

昭和23年 1月	十代 豊竹若大夫に入門、二代 豊竹呂賀大夫と名のる
昭和23年 4月	四ツ橋文楽座での「仮名手本忠臣蔵 祇園一力茶屋の段」の仲居役で初舞台
昭和29年11月	四代豊竹呂大夫を襲名
昭和30年	退座
昭和43年 4月	三代 竹本春子大夫門下として復座、八代 豊竹嶋大夫を名のる
昭和44年	四代 越路大夫の門下となる
平成 6年 4月	切場（きりば）語りになる（重要な場を語る大夫に与えられる最高の資格）
平成27年10月	重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定

[受賞歴]

昭和43年10月	国立劇場奨励賞
昭和45年 5月	昭和44年度因協会奨励賞
昭和49年 9月	国立劇場奨励賞
昭和50年 1月	昭和49年度文楽協会賞
昭和51年 1月	昭和50年度文楽協会賞
昭和51年 6月	昭和50年度因協会奨励賞
昭和62年 1月	大阪文化祭賞本賞
昭和62年 1月	第6回(昭和61年)国立劇場文楽賞文楽優秀賞
昭和62年 7月	昭和61年度因協会賞
平成 6年 3月	芸術選奨文部大臣賞
平成 7年11月	紫綬褒章
平成 8年 5月	大阪府知事表彰
平成10年 1月	第17回(平成9年)国立劇場文楽賞文楽優秀賞
平成14年 1月	第21回(平成13年)国立劇場文楽賞文楽大賞
平成20年 4月	旭日小綬章
平成23年 3月	第32回松尾芸能賞(優秀賞)
平成25年 1月	第61回愛媛新聞賞(文化部門・個人)
平成28年 1月	愛顔のえひめ文化・スポーツ賞特別功労賞